定価 1部 100円(消費税込み) 年間購読料 3,000円(送料含む) The Democratic Party of Japan 平成９年４月25日 第３種郵便物認可
プレス民主 号外版 No,168

民主党埼玉県
第1区総支部所属
埼玉県議会議員

県議(浦和区)
あさのめ よしひで
浅野目 義英
昭和33年生まれ
民主党・無所属の会幹事長
議会運営委員会
警察危機管理防災委員会
緊急経済対策特別委員会

県議(見沼区)
いのうえ まさかつ
井上 將勝
昭和54年生まれ
民主党・無所属の会
産業労働企業委員会
地方分権・行革新都心特委

民主党埼玉県
第1区総支部所属
さいたま市議

市議(緑区)
かんざき いさお
神崎 功
昭和30年生まれ
さいたま市議会副議長
民主党さいたま市議団顧問

市議(岩槻区)
たかの ひでき
高野 秀樹
昭和35年生まれ
民主党さいたま市議団団長
総合政策委員会
地下鉄7号線延伸事業化委員会

市議(見沼区)
みかみ たかし
三神 尊志
昭和55年生まれ
民主党さいたま市議団
市民生活委員会委員長
地下７延伸委員会

市議(浦和区)
こやなぎ よしふみ
小柳 嘉文
昭和40年生まれ
民主党さいたま市議団
まちづくり委員会副委員長
決算行政評価特別委員会

市議(見沼区)
たけだ かずひろ
武田 和浩
昭和36年生まれ
民主党さいたま市議団
総合政策委員会
見沼田圃将来特別委員会

民主党埼玉県
第1区総支部所属
県政・市政担当

まつおか こういち
松岡 耕一
昭和51年生まれ
民主党埼玉県第1区総支部幹事
緑区・県政担当

いしだ まさお
石田 昌生
昭和35年生まれ
民主党埼玉県第1区総支部幹事
緑区・市政担当

■第142回「たけまさ公一と語る会」■

テーマ：「経済」

皆様からの率直なご意見を！
お気軽にご参加ください！

日 時：平成26年8月31日(日)
14:00～16:00
参加費：無料
場 所：埼玉会館5B
(浦和区高砂3-1-4)

【衆議院議員 たけまさ公一プロフィール】

- ●昭和36年(1961年)生まれ
- ●さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶應義塾大学法学部政治学科卒業
  平成元年松下政経塾卒業(第５期生)
- ●平成11年4月、埼玉県議会議員2期目当選 ●平成24年12月16日、衆議院議員5期目当選
- ●元財務副大臣、元外務副大臣
- ●【衆議院】財務金融委員会委員/憲法審査会会長代理/消費者問題特別委員会委員
- ●【民主党】税制調査会副会長 (埼玉県連)代表代行

■たけまさ公一事務所(所在地)

〒330-0074
浦和事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11 松本ビル2F
電話 048-832-3810 FAX 048-832-3846

〒339-0057
岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12
電話 048-749-6801 FAX 048-749-6802

〒100-8982
国会事務所 千代田区永田町2-1-2 衆議院第2議員会館312号室
電話 03-3508-7062 FAX 03-3519-7715

定価 1部 100円(消費税込み) 年間購読料 3,000円(送料含む) The Democratic Party of Japan 平成９年４月25日 第３種郵便物認可

民主 PRESS MINSHU

号外 (No, 168)
民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1－11－1
電話03-3595-9988（代表）

埼玉県(第1区版) 平成26年8月7日号
民主党埼玉県第1区総支部
さいたま市浦和区北浦和3-6-11
電話：048-832-3810
FAX：048-832-3846
民主党埼玉県第1区総支部長 たけまさ公一

～たけまさ公一 衆議院議員国会レポート～

第168号

地域の諸課題を国・県・市で連携！

地域ニュース

■地域の課題を県・市と情報共有(6/9、6/25)

埼玉県の予算要望などについての説明と意見交換が6月9日に都内にて、県選出国会議員が集まり行われました。

上田清司知事からは県の必要基準病床数の加算見直しができたことなどの説明が行われました。また、意見交換では、たけまさ公一議員から「災害に強い地下鉄の岩槻延伸」と「首都高埼玉新都心線の東北道延伸に伴いLRT東西交通大宮ルートを側道に」を発言しました。

また、6月25日には清水勇人さいたま市長とさいたま市に関わる国会議員との意見交換をしました。この際にも、埼玉県同様にたけまさ公一議員より、上記内容を述べ、県・市の足並みが揃いました。

こうした超党派での国・県・市の情報共有は、大変有意義なものです。これからも、「地域から」をスローガンに地元でもしっかりと活動してゆきます。

携帯電話OK！

■たけまさ公一オフィシャルブログ■
http://ameblo.jp/takemasa-koichi/
ご意見・ご要望専用メールアドレス voice@takemasa-k.jp

「決める政治？」で国会閉会（6月22日）

6月末に安倍内閣が閣議決定をしたいわゆる「骨太の方針」について、地方税も含めた法人税の実効税率を現状の約35%から20%台へと数年で引き下げる目標が盛り込まれています。

赤字国債の発行残高が積み上がる現状で法人税率を引き下げることによりその代替財源を確保しなければならず、そのために現在検討されているのが、中小企業への負担増加策です。法人税のほとんどが大企業に集中しており、大企業に対する優遇分を穴埋めするために、外形標準課税の対象（現状、資本金1億円超が対象）を拡大し、景気回復半ばで、まだ赤字経営を続けざるをえない、中小企業に負担を求めることが検討されています。

またこの他にも、パートタイムの女性がこの制度のため、働く時間を調整していると言われる、いわゆる「103万円の壁」と言われる、配偶者控除の見直しも検討されています。

また、自民党内では、新たに携帯電話に対する課税が検討されています。6月18日には有志議員によって携帯電話への課税を検討する議員連盟「携帯電話問題懇話会」が設立されています。現在、諸外国に比べ、日本の携帯電話の料金は高い理由は電波利用料が利用者負担として、上乗せされています。電波利用料という形で、間接的に利用者が税金を負担している現状にも関わらず、新たに課税されることにより、日本の携帯電話料金はさらに高くなります。携帯電話への課税するのであれば、これまでたけまさ公一議員が取り組んできた、電波のオークション制度をさらに進めなければなりません。

「決める政治」と言われ過去10年で最高の法案成立率と言われた通常国会でしたが、19本の法案をいっしょくたにした「医療介護総合法案」のような荒っぽい審議のやり方。また、6月末の「日本再興戦略（成長戦略）」で国家戦略特区での外国人家事労働の受け入れを決め」、さらに年収1000万円以上の皆さんの残業代ゼロも決めています。とりわけ、7月1日には「集団的自衛権行使容認の閣議決定」を行っています。しかし、これらは国会の議論や国民の皆さまへの説明は後回し、一部閣僚間の議論で与党内の議論も生煮え、あるいはほとんど行われないままの「決める政治」で総理や閣僚が外国人首脳に先に説明を行うことを国民の皆さまは本当に望んでいたのでしょうか。臨時国会の早期開催と国会での説明責任を果たすことを政府与党に求めます。

プレス民主　号外版　No,168

憲法審査会での欧州視察（7月16～26日）

たけまさ公一議員は、衆議院憲法審査会の海外派遣で、ギリシャ、ポルトガル、スペインの三カ国を副団長として視察訪問しました。各国で、憲法改正手続き、憲法裁判所、国民投票、環境条項、緊急事態条項、財政規律条項に加え、高校での憲法教育などの聞き取り調査を行ってきました。財政再建については、ＥＵ（ヨーロッパ連合）財政協定に則り、憲法改正、法律改正を行い三ケ国が財政再建に取り組んでいることは、日本にとっても参考になると強く考えます。特に、スペインでは2011年に財政健全化条項の挿入という憲法改正まで行いました。

これら三か国はそれぞれ近年まで独裁政権が続いていたため、新憲法成立が1970年代であったことから、「憲法改正や国民投票」には実は慎重であることも垣間見ました。くわえて、環境条項では、ポルトガルが憲法制定時から「環境権と環境保全義務」を明記したこと、緊急事態条項ではギリシャで「例外的な事態における立法的な内容の命令」がリーマンショック後の経済危機時に多発されたことも注目されます。秋の臨時国会で、視察調査報告を行い、衆議院憲法審査会での議論を行っていきたいと思います。

民主党両院議員懇談会（7月31日）

民主党は7月31日には114名の国会議員の内95名が参加し、両院議員懇談会を開催しました。各メディアで代表選挙の前倒しについて、取り沙汰されていましたが、代表選挙の「前倒し」と、「必要なし」という意見でほぼ二分される形で、約3時間半の議論が続きましたが、海江田代表からは引き続き、代表続投の表明がされました。

この懇談会の中で、「厚く、豊かな中間層の再生」と「地域経済の再生」の２本柱を基本に据えた、アベノミクスに対抗できる「民主党の経済政策」が取りまとめられたことなどの報告もあり、今後、予定されている沖縄、福島の知事選挙、また来年春の統一地方選挙に向け、また、安倍政権への対立軸として、その受け皿となる野党第一党としての役割を担うべく、党の立て直しをしっかりと行っていきます。